

## 令和6年度理学部鶴風会北海道支部総会 第17回三学部合同研修会・同窓会 報告

北海道支部 藤村忠明（昭和46生物）

令和6年11月23日（土）札幌グランドホテルに於いて北海道支部総会を開催しました。令和元年以来5年ぶりです。支部会員が4名。鶴風会伊藤展枝理事長と山梨県佐藤譲支部長がオブザーバーで出席していただきました。事業報告及び会計報告の承認に続き、今後支部活動を継続することは困難との説明があり、討議の結果支部解散が承認され、支部としての活動を終えることになりました。これを受けて伊藤理事長より支部の有無にかかわらず卒業生の活動に対し鶴風会は従来通り支援する旨の心強いお言葉をいただきました。

渡邊善則学長はじめ医学部東邦会、薬学部・理学部鶴風会から7名のご来賓、医学部9名、薬学部6名、理学部5名の参加による研修会・懇親会開催となりました。

研修会は三木敏嗣先生（平成元年医学部卒）による、「ICTを用いた多職種連携について」の講演がありました。地域医療におけるICT（情報通信技術）を用いた医療関係者や介護関係者など多職種間の緊密な連携と情報共有の仕組み構築が必要であること。また連携の難しさについて事例をあげながら講演されました。



懇親会は医学部北海道支部千葉泰二支部長の挨拶に続き渡邊学長はじめご来賓のご祝辞より始まりました。参加者の近況報告や学生時代の思い出にも花咲きました。にぎやかな楽しいひと時は恒例の校歌斉唱でお開きとなりましたが、二次会に場所を変えさらに懇親を深めました。

北海道では平成元年に三学部合同研修・同窓会が始まり現在まで16回開催されており、これからは理学部北海道在卒業生としての参加となります。北海道支部は平成11年に設立され25年が経過しました。支部活動に対し設立準備から現在にいたるまで鶴風会、全国支部及び会員の皆様には大変お世話になりました。お礼申し上げます。

